

## 灌流系ヒトがんオルガノイド作製に関する多施設共同研究

### 1. 研究の対象

「胃がんに対する新規薬剤開発支援のための研究基盤確立と遺伝子変異・発現情報エンサイクロペディアの作成にかかわる研究（2012-328）」に参加された方（2013 年 05 月 10 日～2017 年 05 月 09 日に国立がん研究センター中央病院および東病院において胃がんに対する手術を受けられた、もしくは腹水を採取された方）

### 2. 研究の意義

多くの抗がん剤では、がん細胞や動物モデルでの治療効果に優れた抗がん剤が実際のがん患者さんに投与されますが、必ずしも優れた治療効果が得られているわけではありません。これは、現在の細胞モデルや動物モデルが人を反映していないことを表しています。そのため、患者さんから取得されたがん組織をそのまま評価するモデルの作製および評価方法の確立は今後の抗がん剤開発において重要な研究と考えられます。

### 3. 研究目的・方法

現状の細胞モデルや動物モデルの課題を克服するため、本研究では「胃がんに対する新規薬剤開発支援のための研究基盤確立と遺伝子変異・発現情報エンサイクロペディアの作成にかかわる研究（2012-328）」にてすでに樹立されたがん患者由来動物移植組織（PDX 組織といいます）と灌流系デバイスを組み合わせた灌流系ヒトがんオルガノイドという培養液を流しながらがん組織を三次元的に培養するモデルを作製し、薬剤感受性評価を行います。灌流系ヒトがんオルガノイドモデルや PDX モデルなどの非臨床ヒトがんモデルの特徴を比較することで、抗がん剤開発における灌流系ヒトがんオルガノイドの有用性を明らかにすることを目的としています。研究実施期間は研究許可日から 2025 年 3 月 31 日までです。

### 4. 研究に用いる検体・情報の種類

本研究は、すでに樹立されたがん患者由来動物移植組織（PDX 組織といいます）を用いて研究を行います。検体を新たに採取することはありません。本研究で使用する患者情報は年齢、性別、病名などです。本研究で収集した検体および情報は、本研究の研究目的と相当の関連性のある別研究に将来的に利用する可能性または他機関に提供される可能性があります。

## 5. 外部への試料・情報の提供

本研究では、樹立済の PDX 組織と言う試料と、年齢、性別、病名などの情報が共同研究機関である産業技術総合研究所へ提供されます。試料は冷凍での輸送、情報は紙または記録媒体を用いて提供されます。いずれも個人が特定できないように研究用番号のみ使用します。

## 6. 研究組織

国立がん研究センター 先端医療開発センター 古賀 宣勝  
産業技術総合研究所 創薬基盤研究部門 木田 泰之

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、検体・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者／研究責任者

国立がん研究センター 先端医療開発センター 研究企画推進部門／実験動物管理室

古賀 宣勝

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL：04-7133-1111（代）